

科目名	老年看護学方法論 I	対象学年・時期	2年・前期
講師	非常勤講師及び専任教員	単位数・時間数	1単位・30時間
授業概要	ディプロマポリシー3に基づく。老年期の対象において、加齢がもたらす身体的・心理的・社会的変化は、対象となる高齢者の人生、暮らしに影響を及ぼす。対象はその変化に適応しながら自律したその人らしい暮らしを送っている。暮らしに影響を及ぼす「加齢」の実態とその影響、その人らしい暮らしを送るために必要な支援の視点をこの科目では学んでいく。		
授業形態	講義 グループワーク 演習		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の生理的特徴がわかる。 2. 高齢者の特徴を踏まえた、フィジカルアセスメントがわかる。 3. 高齢者の生活機能のアセスメントができる。 4. 高齢者の健康・自律を支える基本的援助ができる。 5. 高齢者の生活の場である各施設の機能・役割と看護の特徴がわかる。 		
授業計画	<p>1回目 高齢者看護の実際 1) 高齢者に対するアセスメント(老化の特徴振り返り) 2) 高齢者のバイタルサインの特性</p> <p>2回目 生活を支える看護 1) コミュニケーション2) 寛ぎ・安心・安全</p> <p>3回目 歩行・移動・姿勢保持</p> <p>4回目 活動と休息</p> <p>5回目 食生活</p> <p>6回目 排泄</p> <p>7回目 清潔・衣生活・身だしなみ</p> <p>8回目 セクシュアリティ・社会参加</p> <p>9回目 高齢者に特有な症候・障害と看護(加齢による病態と要因を中心に) 1) 脱水 2) 摂食・嚥下障害 3) 低栄養</p> <p>10回目 4) 尿失禁 5) 便秘・下痢</p> <p>11回目 6) 皮膚の障害 7) 睡眠障害</p> <p>12回目 8) 廃用症候群(フレイルを含む)</p> <p>13回目 高齢者の多様な生活の場 1) 介護保険施設 2) 医療施設 3) その他</p>		
使用テキスト・参考書	老年看護学 ①高齢者の健康と障害 ②高齢者看護の実践 (メディカ出版)		
事前・事後学修(学習を促進できる学修)	①基礎看護学 日常生活援助の関連項目及びフィジカルアセスメントの基本 ②老年看護学概論 「老化の特徴」 以上2点を復習しておく。 その他、講義中に適宜指示する。		
評価基準・評価方法	筆記試験100%(専任教員50% 非常勤講師50%) いずれかが6割に満たない場合、最終成績は60点とする。		
備考			